

「国立民族学博物館友の会」講演会

地域開発の未来

人類学者の立場から

ひとにとって住みよい社会とはなにか。グローバル化が進み世界が大きく変貌している中、実際の社会活動において、いかに人類学が活用されているのか、またどのような活用の方法があるのかを、地域開発についての事例とその将来的な可能性をとおして考えます。

▶日時 1月21日(土)

13:30~17:30

(受付開始 13:00~)

▶会場 広島大学東千田キャンパス共用施設B棟2階大講義室
(広島市中区東千田町1丁目1-89 TEL082-542-6961)

▶定員 150名(先着順、要申し込み)

▶参加費 1,000円

「国立民族学博物館友の会」会員および広島大学学生は無料

プログラム

13:30~ はじめに「国立民族学博物館友の会」

13:40~ 趣旨説明 田村克己(民博副館長)

13:50~ 演題「地域研究から開発実践へ
—パプアニューギニア調査研究とJICA専門家としてのかかわり」
講師:熊谷圭知(お茶の水女子大学文教育学部教授)

14:40~ 演題「 Bangladeshのある聖者廟をめぐる
観光開発と人類学」
講師:外川昌彦(広島大学大学院国際協力研究科助教授)

15:30~ 休憩

15:40~ 演題「フィールドと国際社会—『先住民』という視点から」
講師:窪田幸子(広島大学総合科学部助教授)

16:30~ ディスカッション(コーディネーター:田村克己)

※プログラムの内容は変更する場合があります。

講師プロフィール

田村克己(たむら かつみ)

国立民族学博物館副館長。東南アジア文化人類学専攻。主な調査地はビルマ、ラオス、ベトナム、中国南部。主な著書は、『文化人類学入門』(共著、弘文堂、2005年)、『文化の生産』(ドメス出版、1999年)など。

熊谷圭知(くまがい けいし)

お茶の水女子大学文教育学部人文科学科教授。専門は社会文化地理学、オセアニア(パプアニューギニア)地域研究。主な著書は『第三世界を描く地誌—ローカルからグローバルへ』(編著、古今書院、2000年)、『都市の誕生—太平洋島嶼国の都市化と社会変容』(編著、アジア経済研究所、2000年)など。

外川昌彦(とがわ まさひこ)

広島大学大学院国際協力研究科助教授。文化人類学専攻。主な著書は、『ヒンドゥー 女神と村落社会—インド・ベンガル地方の宗教民俗誌』(風響社、2003年)、*An Abode of the Goddess: Kingship, Caste and Sacrificial Organization in a West Bengal Village.* (New Delhi: Manohar Publication, 2006.)など。

窪田幸子(くぼた さちこ)

広島大学総合科学部助教授。文化人類学専攻。主な著書は『アボリジニ社会のジェンダー人類学—先住民・女性・社会変化』(世界思想社、2005年)、『多文化国家の先住民—オーストラリア・アボリジニの現在』(共編著、世界思想社、2002年)など。

会場のご案内

■JR広島駅から、市内電車紙屋町経由「広島港(宇品)」行で「日赤病院前」下車

■JR広島駅から、バス紙屋町経由「宇品(広島港)」行で「日赤前」下車

※お願い
駐車スペースが狭いため、車によるご来場はご遠慮ください。



お申し込み方法

ハガキ、FAX、e-mail、友の会HPにて、ご住所、お名前、電話番号を明記の上、下記までお申し込み下さい(「友の会」会員の方は会員番号を、広島大学学生の方はその旨をお申し込みの際にお知らせください)。

「国立民族学博物館友の会」

(財団法人千里文化財団)

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園1-1

TEL 06-6877-8893 FAX 06-6878-3716

e-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

URL <http://www.senri-f.or.jp/>

※いただいた個人情報はこの催しのご案内のみ使用します。

主催 財団法人千里文化財団

協力 国立民族学博物館 広島大学総合科学部